

図書館だより

vol.18

冬

2021.1 市立米沢図書館

今後のスケジュール



自動車文庫車「アタゴール」は、約3,500冊の図書を積んで市内約70ヶ所を巡回しています。図書館と同じように本の貸出ができますので、ぜひご利用ください。
※巡回場所と時間は図書館HPをご覧ください。

2021年1月

月	火	水	木	金	土	日
2020/12/28	2020/12/29	2020/12/30	2020/12/31	1	2	3
年末年始休館日 12/29(日)～1/3(金)						
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24 英語多読 サロン
25	26	27	28[休館日]	29	30	31

2021年2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
蔵書点検のため休館 2/1(金)～2/7(日)						
8	9	10	11	12	13	14 古文書解説 講座
15	16	17	18	19	20	21 古文書解説 講座
22	23	24	25[休館日]	26	27	28 英語多読 サロン

2021年3月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
「林泉文庫の世界展」講演会						
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25[休館日]	26	27	28
29	30	31				

伝国の杜・ナセBA 連携企画
青少年・こどもの「まなび」応援
図書館利用者カード割引

小～大学生の方は、市立米沢図書館の利用者カードを米沢市上杉博物館で提示すると、常設展・企画展とも入館料が割引になります(団体割引適用)。

展覧会情報は、米沢市上杉博物館のホームページをご覧ください。
<http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>



◆開館時間
[平日]
4月～9月 10:00～20:00
10月～3月 10:00～19:00
[土・日・祝日] 9:00～19:00

◆休館日
毎月第4木曜日
年末年始(12月29日～1月3日)
蔵書点検期間

◆貸出数・貸出期間
図書・雑誌 10点まで 14日間
DVD・CD 3点まで 7日間

〒992-0045
山形県米沢市中央1丁目10番6号
(ナセBA 2階)
TEL: 0238-26-3010
FAX: 0238-26-3012
Mail: tosyokan@library.yonezawa.yamagata.jp
URL: <http://www.library.yonezawa.yamagata.jp/>
Twitter: @yonezawalibrary



カレンダーマーク
のご案内

ブックスタート

先人顕彰コーナー

「郷土史家 伊佐早謙」
(1/29～3/24迄)

「資料紹介：清水彦介資料」
(3/26～5/26迄)

感染症拡大防止のため中止しているイベントの再開時期や最新情報は、HPやTwitterをご覧ください。

ナセBA

市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

【図書館では、下記のマナーを守ってご利用下さい】
※キャップ付飲料は持込可



* 蔵書点検に伴う休館日のお知らせ *

2/1(月)～2/7(日)まで

【蔵書点検とは?】「蔵書」とは、図書館にある資料(本、新聞、雑誌、DVD・CDなど)のこと。「蔵書点検」とは、本の棚おろし、つまり、資料が決められた棚にあるかを調べ、行方不明のものがいないかを点検する作業のことです。

* ギャラリー・先人顕彰コーナー *

ギャラリー展

令和2年度 よねざわ市民ギャラリー自主事業
「林泉文庫の世界展 伊佐早謙が見つないだ沖縄と米沢」

2/27(土)～3/14(日) 会期中無休

[展示時間] 10:00～17:00
[展示会場] ナセBA 1階 よねざわ市民ギャラリー展示室
入場無料

[主催] 公益財団法人米沢上杉文化振興財団・山形大学附属博物館
[後援] うるま市立図書館
[協力] 山形大学小白川図書館
国立歴史民俗博物館メタ資料学研究中心

近代山形を代表する郷土史家で、米沢図書館の創立にも深く関わった伊佐早謙。その蔵書である「林泉文庫」は、当館はじめ山形大学小白川図書館、山形県立公立大学法人附属図書館、白鷹町龍門文庫等に収蔵されています。

近年研究が進む、その成果を踏まえて、伊佐早の知の集積、その世界を展示します。



しゅうけんこう 縦軒稿

関連事業【講演会】

「伊佐早謙 膨大な蔵書と資料収集の足跡」

[講師] 青木昭博(市立米沢図書館 副館長)
[日時] 3/7(日) 13:30～15:00
[会場] ナセBA 1階 体験学習室
入場無料 事前申し込み制(2/8(月)より)
[定員] 30名
[申込先] 市立米沢図書館 郷土資料担当(9～17時)

同時開催【先人顕彰コーナー展示】

「郷土史家 伊佐早謙」

1/29(金)～3/24(水)
[展示時間] 図書館の開館時間に準ずる
[展示会場] ナセBA 中2階 先人顕彰コーナー
入場無料

[主催] 公益財団法人米沢上杉文化振興財団
ギャラリー展示にあわせて、伊佐早謙の業績を紹介いたします。伊佐早は当館の第二代館長として資料の収集や貴重書保管の石倉(珍書文庫)の建設をするなど、図書館草創期において館の運営に尽力します。当館に残る伊佐早の資料より、その功績を紹介いたします。

* 第64回 古文書解説講座を開催します *

- ◆2/7(日) 「米沢藩の地方文書を読む」
小林文雄先生(米沢女子短期大学教授)
[時間] 13:00～16:00
[会場] ナセBA 1階 体験学習室
- ◆2/14(日) 「上杉謙信と北条氏康」(仮)
阿部哲人氏(米沢市上杉博物館学芸員)
[定員] 30名
[資料代] 各回500円(各回申し込み)
- ◆2/21(日) 「米沢藩の癩瘡対応史料を読む」
青木昭博(当館副館長)
[受付開始] 1/7(木)～
[申し込み先] 市立米沢図書館 郷土資料担当(9～17時)



* 英語多読サロン *

英語多読は「辞書を使わない! 分からないところは飛ばす! つまらなくなったら後回し!」を三原則として、自分の力にあった好きな本を、好きな順番に、一人一人のペースで読み進める画期的な読書法です。図書館の英語多読コーナーには絵本を中心に2000冊を超える多読本をレベル別にそろえています。感染対策を万全にして多読仲間が集う英語多読サロンも月1回開催しています。どなたでも気軽にご参加頂けます。

[日時] 第11回 1/24(日) 14:00～15:30、第12回 2/27(土) 14:00～15:30
[会場] ナセBA 1階 体験学習室 [定員] 10名 [受付開始] 第11回は1/12(火)～、第12回は2/8(月)～

新着 一般書 おすすめ本



タイトル：鎌田實の人生図書館 あなたを変える本と映画と絵本たち 400
著者：鎌田 實 出版社：マガジンハウス 分類：O19.9

本が人生の土台をつくり、映画が心の栄養剤になり、そして絵本が癒やしをくれたり。400 を超える本や絵本、映画を取り上げ、生きること・死ぬこと、人生の面白さや心の機微にいたるまで鎌田流に読み解いています。共感する本や映画、絵本など探してみたいかですか。

タイトル：BLW〈赤ちゃん主導の離乳〉をはじめよう！

著者：日本 BLW 協会 出版社：原書房 分類：599.3

BLW (Baby-Led Weaning) は、赤ちゃんが自分で食べる順番や量、ペースを決めて、赤ちゃん自身が食べるまで待つという離乳法。自然に口と歯、全身の発達をうながす、その基本や、正しく安全に始める方法、具体的な食材の知識とレシピを、多くのイラストで丁寧に解説しています。



タイトル：Seven Stories 星が流れた夜の車窓から

著者：糸井重里 他 出版社：文藝春秋 分類：913.6

九州を周遊する豪華寝台列車「なつ星」。運行開始7年目をむかえても予約困難な豪華寝台列車。そこを舞台に、現代を代表する作家、井上荒野、恩田陸、川上弘美、桜木紫乃、三浦しをん、さらには糸井重里、小山薫堂による新しい旅から生まれた極上のストーリーです。



新着 児童書 おすすめ本

タイトル：すっぴこそぞう！ おばけかいどうおつかいどうちゅう

作：大島 妙子 出版社：小学館 ぶんるい：えほん もも 91

足が早くて気はやさしい、だけどちよっぴり泣き虫なとびのすけ。ある日、おっかさんにおつかいをたのまれます。おつかいに行く先は、なんと、おばけの国！おばけかいどうをひた走る、とびのすけ。立ち足はだかるこんなを乗り越えて、とびのすけは、おつかいができたのでしょうか。



タイトル：女の子はなんでもできる！

ぶん：キャリル・ハート え：アリー・パイ やく：富永 愛 出版社：早川書房 ぶんるい：子どもの本 36

女の子だってじゅう医、消防士、宇宙飛行士、探検家にもなれます。できないこと、なれないものは何ひとつないし、どの女の子も、この世界にたったひとりしかいません。この本では、いろんな子がチャーミングでゆかいにかかれています。女の子をおうえんする本です。



タイトル：日本語オノマトペのえほん

作：高野 紀子 出版社：あすなろ書房 ぶんるい：子どもの本 81

オノマトペとは、感じたことやふんいき、その音にそってゆたかに表現する言葉です。たとえば、「ぶるぶる」と「ぶりぶり」や「ことごと」と「くつくつ」など、日本語にはたくさんのオノマトペがあります。家族で楽しく学べる言葉の絵本です。



* 実施しました *

読書週間図書館フェア 2020/10/23(金)~11/8(日)

◆10/24(土) ナイトバックヤードツアー

閉館後の夜の図書館の裏側をご案内しました。5階の壁面書庫では、職員が使用している脚立によって高さを体験してもらいました。

◆10/31(土) おはなしかい (サークル夢空間)

11/7(土) おはなしかい

(図書館職員+サポーター)

検温やソーシャルディスタンスを取るなどの、感染症対策を行いながら開催しました。夢空間さんのおはなしかいではパネルシアターや大型しかけ絵本など、サポーターさんのおはなしかいでは大型絵本を中心に楽しい絵本を紹介しました。久しぶりのおはなしかいをみなさん楽しんでいる様子でした。

◆期間中 特別展示「あの日あの時あの特集」

ナセBA開館から実施してきた特集コーナーを、年表や資料と共に振り返りました。1964年の東京オリンピックの資料を懐かしむ利用者の声が聞かれました。

その他、例年開催している「雑誌のリサイクル市」、「本と雑誌の付録抽選会」やラッピングした本の貸出を行った「秋のお楽しみ袋」など、多くの方にご利用いただきました。来年のフェアもお楽しみに！



ナイトバックヤードツアーの様子



サークル夢空間
おはなしかいの様子

令和2年度 米沢市小中学生読書感想画展

市内小中学校よりご応募いただいた作品(小学校の部 352点、中学校の部 55点)の中から11/26(木)の審査会において、特選44点、金賞183点、銀賞180点が選ばれました。作品は、ナセBA1階よねざわ市民ギャラリーにて12/9(水)~13(日)の期間展示し、1807名の方にご来場いただきました。



「ナセBAうちどく スタンプラリー」実施中!

2021/
3/31(水)まで

市内小学生を対象に、本の貸出や紹介カードを書いてくれた方に景品を差し上げるスタンプラリーを実施中です。

本を2回借りた方にオリジナルしおりを、次に、お家の人と一緒に読んだ本の紹介カードを書いた方にオリジナルクリアファイルをプレゼントします。

さらに、抽選で20名の方に1000円分の図書カードをプレゼント。

この冬、たくさん本を読んでスタンプを集めましょう♪
(※景品はなくなり次第終了となります。)

貸出ランキング TOP5

[2020.12.11 調べ] ※ランキングは常時変動します。

一般 [文学一般・日本文学]

1. おらおらでひとりいぐも 若竹千佐子 著
1. 盤上の向日葵 柚月 裕子 著
3. ホテルローヤル 桜木 紫乃 著
4. 少年と犬 馳 星周 著
4. クスノキの番人 東野 圭吾 著

児童 [子どもの本]

1. 干潟のサバイバル 1
2. 干潟のサバイバル 2
2. 竜巻のサバイバル
2. かいけつゾロリ やせるぜ! ダイエット大さくせん 原 ゆたか 著 さく・え
5. おしりたんてい みはらしそうのかいじけん トロル 著 さく・え

* 実施しました *

第31回 文学講座

去る9/26(土)より3週にわたり当館主催で「文学講座」を行いました。1回目は佐々木紀一先生(米沢女子短期大学教授)より「平家物語一戦いと人」と題して、仇討ちの描かれ方が各諸本によってどのように異なるのか、2回目は当館の石黒が『桜谷百首』にみる米沢藩士のお花見」と題して、江戸時代の米沢のお花見スポットを紹介しました。

今年度より近現代の文学も講座のテーマにしましたが、3回目の馬場重行先生(米沢女子短期大学教授)には三島由紀夫没後50年のメモリアルイヤーに『美神』を読む」と題して、文脈を読み取る力をつけること、いかようにも小説は読んでいい、と三島の初期小説「美神」を例に講座をして頂きました。

第35回 ふるさと歴史講座

11/10(火)から3週にわたり、毎年恒例のふるさと歴史講座を開催しました。今年は、上杉博物館の特別展「米沢城一上杉氏の居城一」の開催にあわせて、テーマを「米沢城と城下町」として展示企画をした佐藤正三郎氏(上杉博物館 学芸員)からは「米沢城内の御殿」と題して、城下絵図を比べながら藩主の謁見の場や座敷飾りから見る書院の格について解説して頂きました。

また2・3回目は当館副館長の青木より「城下町米沢の町名」と題して、伊達時代からの町人町と米沢藩時代の町人町を比較しながら町名の移り変わりや、米沢城の唯一の写真である「米沢城御三階」について撮影場所や撮影者が従来の説と異なるという驚きの事実を話され、とても盛況な講座となりました。



佐々木紀一 先生



馬場重行 先生



佐藤正三郎 氏



31回目の様子